

「家がいいね」 第15号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2005.8.16

つながる60年

男78・6歳、女85・6歳は今年の平均寿命。
男23・9歳、女37・5歳の平均寿命は、アフリカ諸国ではなく、わが国の60年前のもの。
この二つの数字を、自身に経験する世代が居られることを、深く考えたいものです。

暑い夏に思うこと

残暑お見舞い申し上げます。

台風はそれでしたが、写真のように水田に実もなく立つ白い穂を残しました。開花と結実は本当に、微妙なある特定の時間の賜物だと思いました。さて本当にこの夏は暑いのか、会う人ごとに繰り返し訊いて見ました。はっきりした答えは返りません。そりゃあ自分でも去年より暑いのか、問われれば答えようがないわけです。しかし冷房が無ければ過ごせないことだけは明らかでしょう。身体が置かれた環境で暑さの感覚は年々変わります。汗だくで寝た夜の遠雷や、朝方ようやく涼しく感じた窓からの風などは、遠い記憶になったようです。部屋ごと、そして車の乗降ごと、「暑さと寒さ」のショックを軽くも繰り返す日々です。

出会いの二つ二つを大切に

いつもその気持で、そっと玄関に詩を置きます。これは、先号で紹介した「人間を広く遠い視野の中に置いてながめる」ことと同じ立場の詩です。

はらはお花のなかに、
お花は庭のなかに、
お庭は土べいのなかに、
土べいは町のなかに、
町は日本のなかに、
日本は世界のなかに、
世界は神さまのなかに。

そうつい、そうつい、神さまは
小ぢななはらのなかに。

金子みすゞ「はちと神さま」(昭和5年没)



四日市市民大学への出前

9月1日(木)の休診日夜に、市民大学講師としての勤めを果たします。「賢い患者学」の講座の中で、24時間対応の訪問診療としての分担ですが、「不安を受け止める事が大事」と話す予定です。

在宅医療クリニック ゆめ を訪問

クリニックが患者さんや家族とボランティアの出会いの場となる、新しい「ゆめ」が花開く予感がします。出来れば、伊勢市でもこのような場を、いずれ提供したいものだと考えさせられました。



担当 木田英也医師
松阪市田村町六才476の1 (エイデン向い)
電話 0598 25 1130

お知らせとお願い

みえ生と死を考える市民の会の来年の講演会は、今までと異なり、個別実行委員会として企画の予定です。今後のご参加とご協力をお願いします。

現時点での講演会の案

平成18年6月から7月の日曜日(未定)

講師 内藤いづみ 医師



いせ在宅医療クリニック

自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805

三重県度会郡御園村高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail homecare@kr.tcp-ip.or.jp

HP <http://tcp-ip.or.jp/~takuro>